



あかしSDGsパートナーズ取組計画書

明石市長 様

あかしSDGsパートナーズの取組計画を以下のとおり提出します。

(記入日)2022年4月17日

団 体 名	一社)キッチンコミュニケーション協会			T E L	078-983-9100				
代 表 者 名	鎌倉 恵子			メールアドレス	pin-pon-pan-kamakura@nifty.com				
目指すゴール 【複数選択可】 ※ゴール下の枠を チェックしてくださ い									
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
									
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2030年までに達成したいこと	<p>①「食生活の大切さを伝えるコミュニティを作る。 ②リタイアした方々が持っているスキルを活かし生甲斐の場を提供し、次世代を応援する。 ③地産地消の料理を美食することで明石の海の豊かさや里山の良さを次世代に発信し続ける。 伝統の食文化も伝える ④共働きの学童家庭に栄養を考えた夕食と宿題サポートのサービスを提供する。 ⑤ダウン症や自閉症等の親御さん対象の料理教室を開催する事によって、食の学びと悩みを共感する場所を提供する。 ⑥個食家庭を減らし 年齢の違う子ども達も一緒に大勢で食事を楽しむ場所を提供する。</p>								
									

重点的な取組 (※)	【取組①】 ●取組の趣旨・目的 ①共働きやひとり親の家庭で時間に余裕のない親御さんにゆとりの時間を持ってもらう。 ②食べ物の好き嫌いや食べないなど食に悩みを持つ家庭を助ける。 ③大勢で食事をする楽しさを味わって貰う。 ④技術を持った退職後のシニア層にも生甲斐を持つ場所を提供する。 ⑤家族と学校の先生以外の信頼できる大人に出会う機会。 ●具体的な取組内容 週に1回以上、最大1か月に8回宿題サポートと夕食の提供。 分かり易く言えば 栄養士、調理師、元教員、大学生ボランティアが関わる、本当の飲食店での有料子ども食堂のようなイメージ。 食事メニューは カレーやお好み焼き おでん等、手軽なものは避け、栄養士と調理師が相談し旬の食材を使い地産地消の料理を作る。 温もりを感じる家庭のような雰囲気を体感し、宿題をサポートして貰う。	目標値 / 達成年 宿題サポートと夕食の提供月4回/2025年
		該当するゴール
		
	【取組②】	目標値 / 達成年
	●取組の趣旨・目的 ①障害を持つ方にも参画して頂き偏見をなくす。 ②障害を持つ方自身の生甲斐作り。 ③退職後の方に自分のスキルを用いて、次世代を応援する喜びを感じて貰う。 ●具体的な取組内容 脳梗塞で、半身マヒになり、教員を辞めた方にも取組①の宿題サポートをして貰うことが決まっています。 その方は10年以上リハビリを続けておられます。サポートをお願いしたところ、自分がもう一度社会の役に立てることを喜んで下さいました。そして、もう一度子ども達に出逢えることを喜んでおられます。	宿題サポート 月4回/2025年
		該当するゴール
		
	【取組③】	目標値 / 達成年
	●取組の趣旨・目的 同じ地域に住むダウン症の親御さんと一緒に料理教室を無料開催する。地元の企業に寄付を募る。 ●具体的な取組内容 ダウン症や自閉症等の父兄対象の料理教室を開催する事によって、食の学びと悩みを共感する場所を提供する。 料理に興味を持つ ダウン症の子どもさんは一緒に実習する。 *以前 DV シェルターの母親対象に料理教室をしたところ大変喜ばれ、母親同士のきずなが出来たという感想を頂きました。障害を持つ親はなかなか料理教室に通うゆとりがないと思います。親子連れで参加できる場所を無料で提供したいです。	料理教室 年4回/2025年
	該当するゴール	
	